

NO! リニア

No. 87

2015年3月11日

JR東海労働組合
リニア反対プロジェクト

リニア建設工事の入札を業者が躊躇!? 工事を中止するなら今のうちだ!

建設費総額約5兆5千億円の巨大事業であるリニア中央新幹線の工事に、建設業者が入札を躊躇しているという情報があります。

『自然と人間』3月号によると、準ゼネコンA社のB社員によると、「これまでの整備新幹線は、国と自治体のお金で建設されたから工費オーバーになってもカバーしてもらえた。今回は、難工事で工費がかさんでも入札以上はピター文入らない」というのです。

また、異常出水で作業員が流される危険が伴います（その場合、死亡の危険性は極めて高い）。さらに、水涸れが発生した場合の代替水の確保などの費用は受注業者の負担です。南アルプスの場合、毎秒2トンが出水は明らかであり、出水した水は濁水処理や重金属除去を行います。流失した分の水は、井戸の掘削や給水車などで対処しなければなりません。JR東海は何の痛手も被りません。工事を請け負った建設会社が馬鹿を見る羽目になってしまうのです。

すでに実験線工事で水涸れが発生し、工事費意外に余計な費用がかかっていることは、業者は知っています。B社員は「JR東海に参入を断る理由を考えている」と言います。

JR東海は、直ちに工事を中止し、リニア計画を断念することがベストな道です。

水涸れ対策、濁水対策、重金属処理などなど、
業者負担ではやってられない!